



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月31日

上場会社名 ネットイヤーグループ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3622 URL <https://www.netyear.net/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 林田 敏之  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 播本 孝 TEL 03-6369-0550  
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,704	△6.6	△36	—	△36	—	△27	—
2023年3月期第2四半期	1,826	28.8	70	156.1	70	144.5	48	△88.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△3.88	—
2023年3月期第2四半期	6.97	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,944	2,584	87.8
2023年3月期	3,176	2,651	83.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,584百万円 2023年3月期 2,651百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.75	5.75
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	4.6	300	6.7	299	6.6	209	4.4	29.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	6,999,000株	2023年3月期	6,999,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	113株	2023年3月期	113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	6,998,887株	2023年3月期2Q	6,998,887株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和等により、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、ウクライナ情勢の長期化や中国景気の減速懸念など世界経済の下振れリスクは高まっており、国内経済も円安、物価高などインフレ基調が見られ、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社の事業領域であるデジタルトランスフォーメーション（DX）関連分野に対する企業の投資意欲は、引き続き底堅く、2023年8月の情報サービス産業全体の売上高は、前年比107.7%と堅調に推移しています（経済産業省発表「特定サービス産業動態統計調査速報値」）。行動制限の緩和に伴って生活者の購買行動はさらに多様化しており、多くの企業において、顧客一人ひとりのニーズに応えるサービスの開発やマーケティング活動がますます重要になるとともに、少子高齢化に伴う労働人口の減少や賃金上昇への対応として、デジタル技術を活用した生産性向上や競争力強化など抜本的なビジネス改革に対する取り組みが必要となっています。

このような事業環境の中、当社は今後の事業成長に向けて、オウンドメディア領域内でのサービス提供領域を広げ、ウェブから様々なデバイスまで、デジタル・リアルを問わないマルチチャネル化を進めて行くとともに、デジタル技術を活用した新しいサービスの開発に注力する方針です。2023年9月に、AIを活用したWebサイト構築をはじめとする「次世代型マーケティングプラットフォーム」の開発を目的として、株式会社FLUX（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO 永井元治）とPoC（概念実証）の検討を開始いたしました。また、プロダクト型ビジネスへの取り組み及びDX領域におけるケイパビリティの強化を目的として、企業向けシステムの開発基盤をクラウドサービスとして提供する株式会社Hexabase（本社：東京都千代田区、代表取締役 岩崎英俊）と資本提携いたしました。同社との協業を通じ、従来のWebサイト開発事業の質と範囲を拡張し、新たな事業機会を創出するとともに、エンジニアリング領域における人材獲得、育成を目指しております。

当第2四半期累計期間の業績に関しましては、既存取引先においてプロジェクトの終了や規模の縮小が重なったことや、リソースの問題が受注の制約になったこと等から、売上高は前年同期比で減少しております。また売上高の減少に加え、人材の確保・育成に関する費用の増加や稼働率の低下等により、営業損失となりました。

業績は低下する結果となっておりますが、今後も更に成長のための投資を加速させ、サービスの開発、人材の確保・育成に積極的に取り組んで行く方針です。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高1,704百万円（前年同期比6.6%減）、営業損失36百万円（前年同期は営業利益70百万円）、経常損失36百万円（前年同期は経常利益70百万円）、四半期純損失27百万円（前年同期は四半期純利益48百万円）となりました。

なお、当社の事業は、従来より売上高が、多くの顧客企業の事業年度末となる第4四半期会計期間に偏重する傾向がありますが、経済環境その他の要因によっては今後もこの傾向が続くとは限りません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における資産につきましては、前事業年度末に比べ231百万円減少し、2,944百万円（前事業年度末比7.3%減）となりました。主な要因は、現金及び預金の減少106百万円、売掛金及び契約資産の減少271百万円、投資有価証券の増加90百万円等によるものであります。

当第2四半期末における負債につきましては、前事業年度末に比べ164百万円減少し、360百万円（前事業年度末比31.3%減）となりました。主な要因は、買掛金の減少125百万円、未払費用の減少29百万円、未払消費税等の減少26百万円等によるものであります。

当第2四半期末における純資産につきましては、前事業年度末に比べ67百万円減少し、2,584百万円となりました。当該要因は、四半期純損失27百万円の計上、前期決算に係る配当金の支払40百万円によるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末83.5%から87.8%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、2023年4月28日に公表いたしました予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,220,372	2,114,256
売掛金及び契約資産	793,498	522,083
電子記録債権	1,762	—
仕掛品	18,067	12,564
貯蔵品	1,024	953
前払費用	37,412	87,118
その他	2,934	4,060
流動資産合計	3,075,072	2,741,036
固定資産		
有形固定資産	4,258	3,764
無形固定資産		
ソフトウェア	10,471	13,333
その他	1,104	—
無形固定資産合計	11,575	13,333
投資その他の資産		
投資有価証券	—	90,000
敷金及び保証金	42,673	42,545
繰延税金資産	43,337	54,304
その他	0	0
投資その他の資産合計	86,011	186,849
固定資産合計	101,844	203,948
資産合計	3,176,917	2,944,985
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	273,058	147,535
未払金	59,385	70,332
未払費用	40,290	11,164
未払法人税等	13,173	9,213
未払消費税等	34,454	8,100
契約負債	12,659	11,112
賞与引当金	76,062	70,848
その他	11,098	23,356
流動負債合計	520,183	351,664
固定負債		
その他	5,118	9,070
固定負債合計	5,118	9,070
負債合計	525,302	360,734
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	570,966	570,966
資本剰余金	651,875	651,875
利益剰余金	1,428,851	1,361,486
自己株式	△78	△78
株主資本合計	2,651,614	2,584,250
純資産合計	2,651,614	2,584,250
負債純資産合計	3,176,917	2,944,985

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,826,267	1,704,972
売上原価	1,454,547	1,411,795
売上総利益	371,719	293,177
販売費及び一般管理費	301,241	329,905
営業利益又は営業損失(△)	70,478	△36,728
営業外収益		
受取利息	10	11
未払配当金除斥益	210	175
補助金収入	—	223
雑収入	260	6
営業外収益合計	481	416
営業外費用		
支払手数料	621	624
その他	40	5
営業外費用合計	661	630
経常利益又は経常損失(△)	70,297	△36,942
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	70,297	△36,942
法人税、住民税及び事業税	1,145	1,145
法人税等調整額	20,351	△10,967
法人税等合計	21,496	△9,822
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,800	△27,120

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。